



2024年1月 第138号

産業文化通信

JCI 産業文化協同組合 技能実習生受入事業部発行

東京都千代田区神田鍛冶町 3-6-7 6階

電話:03-3525-4838



新年のご挨拶

組合員企業の皆様

新年あけましておめでとうございます！

昨年はいったいという間に終わったと感じる一年間でありました。漸くコロナ感染症が収束し、海外からの入国も通常軌道に戻りました。それでも手続き等慌ただしさが残る中、組合員の皆様が力を合わせて努力されたお陰で、弊組合においては大きな混乱もなく、技能実習生及び特定技能生の在籍人数が昨年より 100 名ほど増えるなど順調に推移致しました。

昨今、「現行の外国人技能実習生制度を廃止し、新しい制度へ」と衝撃的なニュースが流れました。日本の労働力不足は非常に大きな問題で、今後は外国人労働者を重要なリソースとして大事にしなければなりません。経済発展には、ある程度の人口規模は必要です。日本はもの造り大国です。国内生産を大事にして独自の方法で生存していくのが重要です。未来に向けて様々な経済不透明さがある中、より一層組合員の皆様が一丸となってこの状況を乗り越えていく、業務を遂行していくという強い意志、信念を貫ぬいていく時代が来たと感じております。

来る 2024 年は組合創立 15 年の節目になります。創業期からお世話になっていた山越巳智雄が 2023 年 12 月末をもって定年退職致しました。組合の仕事はマニュアル通り、AI ではかれるものではなく、人間臭い仕事であると考えております。とりわけ初期の数年間、インターネットやスマートホンも普及していない時代で、山越が各受入企業様を転々と巡回し、たどたどしい中国語で技能実習生と話し合い、企業様の要望を伝えたり、実習生の指導をしたり、日本での生活に戸惑いを感じている実習生達の心のケアをして参りました。皆様から長きに渡りご愛顧を頂きました事、心より感謝申し上げます。

創立時から時を経て、現在組合に勤める職員は日本人、中国人の他に、ベトナム人、カンボジア人、ミャンマー語通訳者、タイ語通訳者と多国籍になり、文字通りのグローバルチームになっております。個々外国語なまりつきの日本語で飛び交わす、各企業様の報告、技能実習生と特定技能者達の日本生活の喜怒哀楽話など、様々な内容について語り合うことは組合事務所の日常となっております。企業様と実習生、特定技能者の間に入り調整する事、個々人間の悩みを解決し、外国人が企業様と円滑で良好な人間関係を築けるようにしていく事が組合の使命であると強く確信しております。

2024 年ですが、新制度の内容に注視し、正しい情報を一早く組合員様お伝えして参る所存です。尚、新制度下では皆様のご協力が不可欠でございます。当組合は引き続き、十分に皆様のお役に立てる優良組合として邁進して参る所存でございます。来年も変わらぬお力添えを頂きたくお願い申し上げます。

2024 年辰年が、皆様にとって活気溢れる飛躍の年となりますよう、お祈り申し上げます。

JCI 産業文化協同組合
代表理事 遠藤辛杜